

出雲の砂丘海岸林再生プロジェクトの取り組みについて

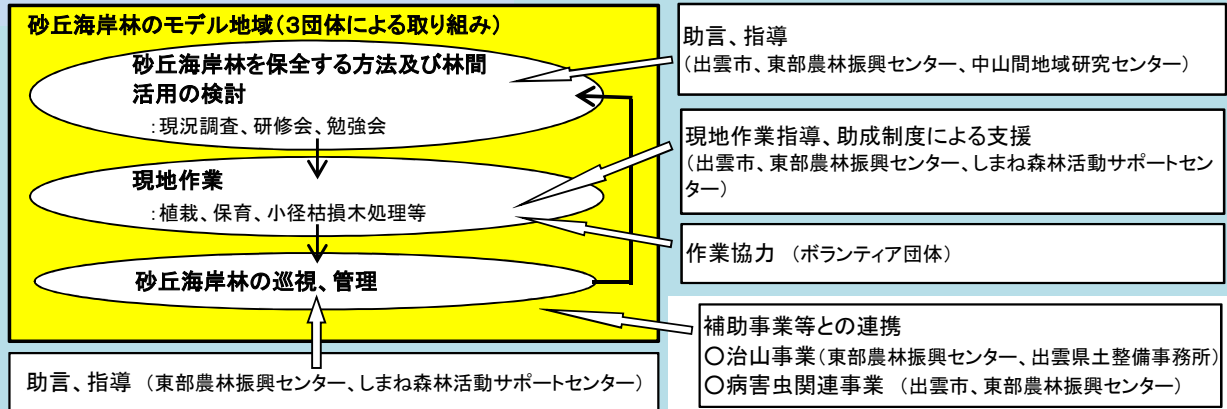
○目的

松くい虫被害等により公益的機能の低下が見られる出雲の砂丘海岸林において、島根県の「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」において「出雲の砂丘海岸林再生プロジェクト」を設定し、地域主体による永続的な保全・管理体制づくりに向け、モデル地域を設定し、活動団体と関係機関が協力して取り組みを推進する。

○期間

平成24年度～平成27年度（4年間）

○推進体制（進行管理：東部農林振興センター）



○活動団体

浜山を守る会、大山地区の緑を守る会、外園海岸整備推進協議会

○活動実績

成果指標	H24実績	H25実績	H26実績	H27(目標)
整備活動への住民等の参加者数 (人)	532	636	348	500
整備作業の実施面積 (ha)	1.22	1.31	1.44	1.30

浜山を守る会 高松地区住民を中心に浜山地域の松林の保全活動に取り組んでいる。これまでの植栽活動により、植栽が必要な箇所はなくなり、現在は植栽地の下刈り、コデ掻き、自生クロマツの除伐などの保育活動に取り組むほか、講演会等の啓発活動も実施している。		
大山地区の緑を守る会 湖陵町差海地域において森林所有者を中心に共有林の再生に取り組んでいる。松枯れ地での植栽・下刈り、除伐活動に取り組むほか、松くい虫被害木の巡視活動や研修会の開催による技術向上にも取り組んでいる。		
外園海岸整備推進協議会 長浜川西地区の外園町、西園町9町内の住民により、外園海岸林の保全活動に取り組んでいる。松枯れ地の植栽・下刈り活動のほか住民の知識向上に向けた研修会にも取り組んでいる。		